

2022年8月

# 高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



図書館ですてきな出会い人と本

## 讃岐五街道を歩いてみませんか？

第4弾

讃岐五街道シリーズ第4弾は、「金毘羅街道」です。近世後期になると伊勢参りなどと並んで、金比羅参詣にも全国から人々がやってきました。参拝者が通った街道は「金毘羅街道」と呼ばれ、その主な街道は「金毘羅五街道（高松、丸亀、多度津、伊予・土佐、阿波）」と呼ばれています。高松金毘羅街道が「讃岐五街道」の一つです。ルートとしては、先月紹介した「仏生山街道」から栗林公園の東側で南西方向に分岐し、勅使、円座、岡本、滝宮、栗熊などを経て琴平に入るルートです。県道266号を直進し、そのまま県道282号に入り、琴平に至るルートの前身の道です。現在は、国道32号がその役割を担っています。

道筋には、参拝者のために多くの燈籠、道標、鳥居などが寄進、建立されました。高松市歴史資料館では街道沿いにあった道標が展示されています。手形を掘り出し、向かって右側が「ことひら」、左側が「やしま」「やくり」と刻まれています。また、側面には万蔵村と刻まれており、今の東ハゼ町にあったものです。また西ハゼ町には、街道沿いに天明7年（1787）3月に建てられた金毘羅燈籠が現存しています。

同じく西ハゼ町の街道沿いには<sup>かみそり</sup>剃刀塚という塚があります。この付近出身の<sup>かんげん</sup>観賢は、仁寿3年（853）に生まれ、<sup>しょうぼう</sup>聖宝（後の<sup>りげん</sup>理源大師）に見出され、弟子として上京しました。聖宝の没後、醍醐寺座主、高野山金剛峰寺座主となり、真言宗のトップの地位を得ました。

観賢は朝廷に対し、空海に大師号を贈るようお願いし、延喜20年（921）に弘法大師の<sup>しごう</sup>諡号を賜りました。観賢は高野山の御廟に報告に行き、<sup>でびょう</sup>廟を空けると、大師の髭が伸びていたので剃刀で剃ったと伝えられています。剃刀を郷里に持ち帰り、埋めたと伝わるのが、この剃刀塚です。



道標（複製）  
（高松市歴史資料館蔵）



西ハゼ町の金毘羅燈籠と剃刀塚



『近世の讃岐』木原溥幸／著 2000年 美巧社 T2100/キン

『讃岐おもしろ人物図鑑 パート3』阿津秋良／著 2009年 美巧社 T2818/アツ

\*中央図書館 8月の休館日のお知らせ\* 1日、8日、15日 22日、29日、31日



## アートを味わおう

3年に1度、春・夏・秋の3会期に分かれて開催される芸術祭。8月から夏会期が始まります。今回は、芸術祭観賞に役立つ資料をご紹介します。



### 『大竹伸朗』

大竹伸朗 / 著 平凡社 2015年 / 発行 7087 / オオ

現代美術家、大竹伸朗の初期の作品から、2013年開催時に女木島で新たに制作・展示された作品を含めたポケットサイズの世界集。少年時代に漫画家を志し、油彩を経て、現在の作品形態にいたるまでの足跡がたどれます。今回の芸術祭では豊島、直島、女木島で作品を観賞できます。



### 『図説 モネ「睡蓮」の世界』

安井裕雄 / 著 創元社 2020年 / 発行 7233 / モネ

印象派の巨匠、モネが晩年ジヴェルニーの自宅に造った「水の庭」。この庭から誕生した、睡蓮をモチーフとする全308作品が味わえる1冊です。白内障に苦しみながら連作、大装飾画に挑む当時の様子、自身による作品破壊や火災により全体像は現在写真でしか残されていない幻の作品も紹介。直島の地中美術館収蔵作品も解説されています。



### 『これからの美術がわかるキーワード100』

美術手帖 / 編 美術出版社 2019年 / 発行 7020 / コレ

2010年前後から浮上してきた現代美術の新たな概念や動向を解説。本書は美術専門雑誌『美術手帖』で特集され、単行本化されました。欧米と日本・アジアの動向など、分野に分け簡潔に分かりやすく紹介され、2010年代を代表するキーパーソンといった現代の美術を学ぶ上で知っておきたい知識が身に付きます。



### 『直島誕生 過疎化する島で目撃した「現代アート」の挑戦』全記録』

秋元雄史 / 著 ディスカバー・トゥエンティワン 2018年 / 発行 T7069 / アキ

1991年よりベネッセで直島プロジェクトを担当、「家プロジェクト」や地中美術館などを生み出した仕掛け人により、アートの島と呼ばれるまでの全記録。著者いわく、製錬事業により赤土むき出しの状態の「疲れ果てた風景」がプロジェクトを経て生まれ変わる様子が分かります。訪れる前に手に取ってみてはいかがでしょうか

## 旅のおともに

### 『瀬戸内国際芸術祭2022公式ガイドブック アートと島を巡る旅』

北川フラム、瀬戸内国際芸術祭実行委員会 / 監修 現代企画室  
2022年 / 発行 T7069 / セト

芸術祭の舞台となる各島の歴史、会場の首長インタビューに始まり、島の地図と展示作品が分かりやすく紹介されています。シーズンごとに公開時期が異なる作品も、この1冊で網羅され、全会期を巡る旅にぴったりです。



## 8・9月の展示

全国各地を巡回し、ミステリファンから好評を得ている展示が高松にやってきます！



## 『ミステリ作家たちの横顔』展

期間：8月2日～9月29日

場所：2階展示コーナー

佐賀県在住のミステリ作家、竹本健治氏の呼びかけによって寄せられた作家31人の「落書き」と、所蔵本を展示します。当館での展示に合わせて郷土出身の作家、喜国雅彦氏の作品が追加されました。ぜひ、お越しください。

### 行事予定

村山篝子研究会による

### 篝子さんのアニメーションをつくろう！

【日時】8月4日（木）午後2時～5時まで

【場所】中央図書館1階児童コーナー

【参加方法】申込不要、参加費無料

【内容】・篝子さんのおはなし会（午後3時から）

・ワークショップ 篝子さんのお話を絵にしちゃおう！

・村山篝子さんのことを調べちゃおう

おはなし会や夏休みの宿題に役立つワークショップなどを開催します。

郷土作家について学べる機会です。

むらやま かずこ

**村山 篝子**（1903年～1946年）

高松出身の児童文学作家。代表作『3びきのこぐまさん』、『かさをかしてあげた あひるさん』など。中央図書館児童コーナーでは貸出可の本・紙芝居、菊池寛記念館「郷土の作家コーナー」では年表などで詳しく紹介しています。



図書館児童コーナーの特集コーナー



3階菊池寛記念館「郷土の作家コーナー」



年表や著作を展示・紹介しています

### 作品募集

#### 「第11回 高松市図書館を使った調べる学習コンクール」 「読書感想画」

【応募期間】9月9日（金）～9月16日（金）

※夢みらい・香川図書館は9月12日（月）～9月16日（金）

【対象】高松市内在住の小学生、中学生（調べる学習コンクール）

小学生、保育所、幼稚園、こども園園児（読書感想画）

【応募方法】図書館開館時間内に最寄りの高松市図書館へ持参

【募集要項】高松市各図書館にあります。

応募された全作品は、  
11月3日（木・祝）開催  
第17回高松市こども読書まつり  
にて展示します！

夏休みにぜひ  
挑戦してね！



### 行事報告 ボランティア養成講座

6月30日（木）～視覚障がい者等への読書活動支援のあり方について～



視聴覚ホールにて、盲導犬ユーザー 谷本 邦恵氏、香川県視覚障害者福祉センター館長 岡 悦子氏にご講演いただきました。講座の第1部では「視覚障がい者が日常生活を送るうえで感じること」というテーマのもと、谷本氏と岡氏に対談していただきました。対談では、初めて訪れる場所で使う身障者用トイレは、ドアの開閉の仕様すら異なるので困るなど具体的なお話いただき、第2部では、「香川県における視覚障がい者支援の現状」というテーマで、録音図書再生機（プレクストーク）の使用して読書を楽しんでもらう環境整備の取組み、県内視覚障がい者の状況などをお話いただきました。2時間の講演中、盲導犬が谷本氏の足元で静かに寄り添って「お仕事」をしている姿が印象的でした。



# 中央図書館 8月行事予定

・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	4	5	6 ●なかよしかみしばい 14:00~
7 ★夏のおたのしみ会 14:00~15:00	8	9	10	11	12	13
14	15	16 ●えいごの おはなし会 11:00~	17 ●にこにこ おはなしひろば 16:00~	18 ●わらべうたであそぼう 10:30~ ★調べる学習相談会 10:00~11:30 14:00~15:30	19	20 ●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんにちは 14:00~
21	22	23	24	25	26	27 ●伝々虫のおはなし会 10:00~
28	29	30	31	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント等の開催を中止・延期する場合があります。 今後の開催予定は、ホームページや館内掲示でご確認ください。		

## 音楽の小部屋

### 『JONI75 / ジョニ・ミッチェル・バースデイ・セレブレーション』 22 / ミツ

アメリカ音楽史に燦然と輝くシンガーソングライター、ジョニ・ミッチェル。彼女が作った楽曲は、様々なポピュラーミュージックに影響を与えています。このアルバムは彼女の75歳の誕生日を祝って、多くのミュージシャンが集ったトリビュートコンサートの記録です。ジョニはコンサートの数年前に倒れたため歌ってはいませんが、彼女が生み出した名曲の数々を一流ミュージシャンが披露しています。ロス・ロボス、チャカ・カーン、ダイアナ・クラール、ルーファス・ウェインライト、ジェイムス・テイラー、グラハム・ナッシュ、ノラ・ジョーンズといった面々がジョニの名曲を歌う、夢のような時間が収められた素晴らしいライブアルバムになっています。圧巻はフィナーレを飾る「ビッグ・イエロー・タクシー」。1970年に発表された軽快でノリがよい曲ですが、実は環境破壊をテーマにしたエコロジーソング。50年近くの年月を経て、チャカ・カーンやジェイムス・テイラー、ブランディ・カーライルらがこの曲を歌う情景に胸が揺さぶられます。(M)



※このコーナーでは、毎月一枚、音楽好きの図書館員より個人的おすすめCDを紹介していきます。

## 視聴覚だより 2階 AV コーナー

### 特集「感動でこぼれる涙」

- CD 『歌で男が泣くなんて〜ソウル・バラード24金』 23 / ウタ
- 『涙と祈り』 15 / ナク
- VHS 『アイ・アム・サム』 V11 / アイ
- 『鉄道員』 V21 / ホツ
- DVD 『1リットルの涙』 D21 / イチ
- 『わたしを離さないで』 D11 / ワタ



### ＜ピックアップ作品＞

- DVD 『ブータン 山の教室』 D11 / フタ
- 歌手になる夢を抱きつつも、ルルナ村の学校に教師として赴任したウゲン。ブータン標高4,800メートルの秘境の村に1週間以上かけてたどり着くと、そこには期待に目を輝かせた生徒たちが…。美しい自然と子どもたちの笑顔に癒されつつ、本当に豊かな暮らしとはどんなものかを考えさせてくれます。